

八木市政2期の総括は



大宮吉満 議員

質問

2期の市政の感想は。

市長

総合斎苑・給食センターの建設・勝幡駅前開発を進めてきた。

勝幡駅前開発の経過を伝えたい。

旧佐織町時代の昭和53年に勝幡駅前広場を含む都市計画道路を認定。平成9年の住民アンケート、10年の基本構想の策定を経て、13年、第3次総合計画に藤浪駅と勝幡駅周辺を重点プロジェクトと位置

づけた。

平成15年に住民参加による駅前広場基本構想3案を作成。16年に基本計画を策定した。また、合併協議会における新市建設計画で主要施策とし、住民説明会を行った。17年には、都市再生整備計画書を取りまとめた。

新市となり、平成19年2月、勝幡駅前広場の南側の都市計画なども決定して今日に至っている。
ヒブワクチンを初めワクチン助成なども、管内では他の市町よりも多く助成してい

る。

保育料の値上げ、水道料の値上げ、そして国保税の値上げ、そうした負担をお願いすることも、市民、議会の理解も得つつ進めた。

『東洋経済別冊 都市データバック2012年版』で、市の保育料は東海三県で一番安いと出ている。そして、『東洋経済』の「出産・子育てしやすい街ランキング」、全国810の市と区の中で、97番に位置されている。

観光協会やマスコットキャラクターの指定などで、愛西市のPRもたくさんしてもらえるようになった。

ケーブルの配線もクロージャーTVに全地域配線整備をしてもらい、情報を伝えられるようになった。同報無線や、FMの案件も今提案している。

統合庁舎については、1億9千万円ほどの削減内容をもって進めさせてもらうべく、お願いをしている。

質問

企業誘致の将来構想は。

市長

弥富インターの周辺、あま愛西線の県道の南側、日光川を挟んだ東と西という産業ゾーンの区域を設定している。

愛知県の職員市町村サポート制度を活用して県とのパイプを深め、一歩も二歩も前へ進むべく、職員の県への派遣なども、新年度考える。本庁の組織にも、企業誘致に関する部署を配置する。

質問

市長の来期への考え方は。

市長

「市政を務められなくなったり市政に支障を来すようなら、身を引かなくてはいけない」、これは私の信念だ。市民の負託を受けて、選挙を通じて立場をいただいた以上は、責任を持って務め上げることが一番である。

次回の選挙には、出馬をしない決意を持っている。後継指名は、現段階、全くない。白紙の状況だ。

